

## 07 「私にできること」(作文(中学生))

(ナレーター) 皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、福田愛依が第四十一回全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会で入賞した中学二年生の作文を一部省略して朗読します。題名は「私にできること」です。

あと十センチ。来年の夏には、私の髪の毛は目標の長さになる。私の目標は、肩の下で髪の毛を切って三十一センチの長さが切り取れること。ヘアドネーションのために髪を伸ばしている。次でもう三回目。これが、いま私にもできることだ。

小学校の友達のみーちゃんは、生まれつき骨の病気をもっていた。普段は元気で、一緒にふざけあうのだが、学校を何度もなく休んで、手術を繰り返していた。そのたびに私は「手術大変だけど、早く元気になってね。頑張っってね。」とお手紙を書いた。

卒業式の日、みーちゃんは参加できなかった。みーちゃんのお母さんが来ていて、入院中のみーちゃんとビデオ通話でつないでくれた。みーちゃんは、みんなに会うことができるとてもうれしそうだった。そして私にこう話しかけた。「いつもお手紙ありがとう。手術きついけど、頑張る勇気ももらえたよ。」

25 私にとって手紙を書くことは、みーちゃんが痛みに耐えて手術を受けることに比べたら、とても簡単なことだ。たったそれだけのことが、みーちゃんのおおきな支えになっていたとその時初めて知った。

30 ある時テレビで、がんで髪の毛がなくなってしまった子ども達にかつらを作るため、自分の髪を伸ばして送るヘアドネーションという活動を紹介していた。

私が最初にヘアドネーションをしたのは、そのちよつと後だった。ヘアドネーション対応の美容室に行ってカットしてそれを送るだけ。とても簡単だ。

35 私たちにとってはささいなことでも、誰かの大きな力になれることがある。例えば、電車でお年寄りや妊婦さんに席を譲る。重い荷物を持ってあげる。困っている視覚障がいの人に声をかける。そんな簡単なことでも、一人一人が実行すれば、みんなが生きやすい世界につながると思う。

40 もつともつと広がれ！ヘアドネーション。  
もつともつとたくさんやろう！自分にできること。

45 (ナレーター) 思いやりのある行動は、たとえ小さなことでも誰かの希望になります。私たちも自分にできることを探してみたいですね。

(本文932文字)